

作並小学校に関する地域懇談会ニュース

第3回地域懇談会を開催しました。

地域の代表者や保護者で今後の作並小学校及び新川分校のあり方について話し合う3回目の地域懇談会を11月14日に開催しました。

第3回地域懇談会では、教育委員会からこれまで仙台市内で統合により閉校した小学校施設の利活用について説明し、意見交換を行いました。意見交換後、各委員から作並小学校の今後について考えや意見を発言していただきました。様々なご意見がございましたが、作並小のあり方について一定の方向性が出ましたので、地域の皆様にお知らせします。



平成30年11月14日（水）18:30～20:00
会場：作並小学校 2階会議室

地域懇談会としての結論

「子供たちの教育環境の改善のためには統合が必要である」などの意見が多数を占めたことから、

平成32年4月を目途に、作並小学校は上愛子小学校と統合する

という結論に至りました。

これまでの経過

- 平成28年 6月 作並小保護者の皆様との意見交換が始まり、友人関係の少なさや様々な場面での関わり合い、競い合いの少なさなど教育環境への様々なご意見が出されました。
- 平成29年10月 町内会長等地域の代表者と意見交換を始め、作並小の現状や今後の作並小のあり方について協議を重ねてきました。
- 平成30年 5月 作並小学区にお住まいの方を対象に現状についての地域説明会を開催しました。
 - 7月 地域の代表者や保護者の皆様から選任された委員と地域懇談会を設置し、「地域活性化と学校統合」をテーマに1回目の懇談会を開催しました。
 - 9月 「地域コミュニティと学校統合」をテーマに、第2回地域懇談会を開催しました。
 - 11月 第3回地域懇談会では、「閉校した小学校施設の利活用」について説明しました。最後に、今後の学校のあり方について委員一人一人に発言していただきました。

1. 教育委員会からの説明

第2回地域懇談会において、閉校後の小学校施設の利活用についてご質問をいただいたことから、これまでに統合により閉校した小学校施設の利活用の事例をご説明しました。

統合決定から利活用開始まで

仙台市内においては、これまで松陵小学校・貝森小学校・坪沼小学校の3校（津波被災校を除く）が閉校し、利活用の検討が進められてきました。下図は、統合が決定してから、利活用が開始されるまでの検討や施設改修等の期間を示したものです。

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
松陵小	統合決定	統合					
	利活用の検討			施設改修等			利活用開始
貝森小		統合決定		統合			
		利活用の検討		施設改修等		利活用開始	
坪沼小		統合決定		統合			
		利活用の検討					

閉校後の小学校施設の利活用・検討状況

<旧松陵小学校>

施設全体を宮城県に貸与し、平成30年4月に県立小松島支援学校松陵校が開校しました。

<旧貝森小学校>

校舎は(仮称)公文書館、プール跡地は障害福祉サービス事業所、校庭及び体育館は仙台高校第2グラウンド及び第3体育館とすることに決まり、平成30年4月から一部利用が開始されました。

<旧坪沼小学校>

旧坪沼小学校は、現在、地域活動拠点としての利用の具体化に向け、地域と市民活動団体との複合利用という方向性を軸に検討が進められています。

閉校後の小学校施設の地域利用状況

旧松陵小学校及び旧貝森小学校は、利活用決定後の新たな施設管理者との協議により、校庭・体育館は施設開放を継続しています。また、地域との話し合いにより、旧貝森小学校は補助避難所、旧坪沼小学校は指定避難所として、避難所の機能も継続しています。

2. 意見交換の主な内容

閉校後の小学校施設について

地域委員：統合した場合、作並小学校の維持管理はどこの部署が行うのか。

教育委員会：正式な利活用が決定するまで、教育委員会が管理していきます。

地域委員：正式な利活用の検討は教育委員会が行うのか、宮城総合支所で行うのか。

教育委員会：教育委員会のみ、あるいは宮城総合支所のみが検討を進めるのではなく、関連する部署が連携しながら、また地域の皆様の意向もお聞きしながら、市全体で検討を進めていきます。

地域委員：統合後も避難所としての利用は可能なのか。

教育委員会：避難所として代替えできる他の施設がありませんので、正式な利活用が決定するまでの間は、避難所として学校を使用することは可能です。また、利活用決定後は、新たな施設管理者との協議を行うこととなります。

地域組織について

地域委員：作並小地域の子供や保護者を対象とした事業をどのようにしていくか、新たな体制で組織を作るなど検討はしているのか。

地域委員：個人的な意見だが、町内会とも話し合った上で、子供会を一つにできれば良いのではないかと考えている。

地域委員：作並学区民体育振興会は解散してしまうので、体育振興会で主催している行事を町内会の行事として残せるかどうか検討することも必要ではないのか。

地域委員：現在の上愛子小児童も、作並の行事に来てくれるようになれば良い。

今後の検討体制について

地域委員：作並小学校施設の利活用に対する地域の要望などをどのようにまとめれば良いか。

教育委員会：町内会長と保護者の代表者で施設利活用検討協議会を作った事例はありますが、特に決まりはありません。作並・新川地区活性化連絡協議会でも検討されていますので、そちらとも調整しながら、皆様と話し合い今後決めていきたいと考えております。

3. 作並小学校のあり方について

委員の主な意見

- 学校は子供の教育が第一のため、統合した方が良いと思う。
- 次の世代に良い形で引き継いでいくのも町内会役員の仕事。保護者の意見を尊重し、統合が良いと思う。
- 地域活性化は時間をかけて取り組んでいく一方で、段々と児童数が減っていくため子供たちの教育環境は先送りにできない。まずは子供たちのことを考え統合が良いと考えている。
- 母校が無くなるのは辛いですが、統合が望ましい。
- 地域への説明会をもう少し開催して欲しいが、保護者の意見を尊重する。
- 統合した学校に作並小学校の伝統を引き継いでいきたい。
- 地区住民全員がPTA準会員として分校を支えてきたなど地域の意見もあるため、保護者の意見は尊重したいが、現時点では結論は出せない。
- 閉校後の施設利活用の方向性が定まらないままでは、結論は出せない。

4. 今後について

これまでの検討を踏まえた協議の結果、地域懇談会として「平成32年4月を目途に、作並小学校は上愛子小学校と統合する」という結論に至りました。

地域懇談会の結論を受け、今後、教育委員会において作並小・新川分校・上愛子小の統合を正式に決定いたします。

また、円滑な統合に向けて作並小・新川分校・上愛子小の関係者・地域の方々とともに統合準備委員会を立ち上げます。その様子も「統合準備委員会ニュース」として作並小・上愛子小学校区にお住いの皆様にお知らせしてまいります。

来年度1年間は児童の事前交流を行うなど、子供たちが新しい学校で、新しい友達と共に学び、共に遊んで、豊かな小学校生活を送ることができるようにしっかりと準備を行ってまいります。地域の皆様には、これまで通りのご支援・ご協力をお願いいたします。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎11階

TEL：022（214）8432 FAX：022（264）4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp